

この取扱説明書をよく読んでご使用ください。取扱説明書は大切に保管して下さい。本器は理化学機器です。一般の方はご使用できません。本器はスタンドやロッドに取り付けて手軽に使える、ラボ攪拌機です。水溶液の量、濃度によって、攪拌の状態が変わりますので、回転調節つまみで調節して使用します。

仕 様

回転数	約 50～1,250rpm
モーター	AC コンデンサー形 4 極 8W (50Hz)
トルク	61.2mN・m (600g/cm)
攪拌羽根	φ 50－4 枚羽根 SUS304
攪拌シャフト	φ 8×300mm SUS303
電源	AC100V,50/60Hz,0.5A 三芯接地プラグ付電源コード
使用環境	温度 5～35℃ 湿度 80%以内
外形寸法・重量	W345×D272×H770mm・10.2kg (スタンド台を含む)
付属品	攪拌羽根付攪拌シャフト、支柱、スタンド台、S 型クランプ、 6 角ネジ回し×1

安全のための注意事項

- 防爆型ではありません。引火性、爆発性のあるガスの雰囲気中では、絶対に使用しないでください。
- 電源は AC100V,1A 以上取れるコンセントに直接差し込んでください。三芯接地付コンセントがない場合も、必ずアースを接続してください。
- 接地アダプターの使用はプラグの緩み等による過電流で火災等、事故の原因になる場合がありますのでお避けください。
- 電源コードを束ねたまま、使用しないでください。過熱、火災の原因となります。
- 水平に設置し、周囲に攪拌による飛沫をあげると、具合の悪い機器を置かないでください。
- 引火性物質（有機溶媒等）揮発性の高い物質の攪拌に使用しないでください。火災の原因となります。
- 本体モーター部と攪拌シャフト、本体モーター部と支柱、支柱とスタンド台等の取付はしっかりと固定してください。ゆるみますと、本体の落下、容器の破損等の事故の原因となります。
- 回転を上げるときは徐々に上げてください。回転を可変すると振動が大きくなり共振を起こすことがありますので、その位置はさけて本体位置を移動させるか、羽根の上下の位置を少々変えてください。
- 電装部に水溶液がかからないようにしてください。腐食、電装部の故障、特に漏電の原因となります。
- 使用環境の範囲を越えて使用しますと動作不良、故障の原因となります。
- 使用しないときは、必ず電源コードを抜いて保管してください。
- 雷が鳴り始めたら、電源スイッチを切り、元電源を切ってください。
- 装置を分解・改造しないでください。漏電、感電、異常動作、火災等、事故の原因となります。

使用方法

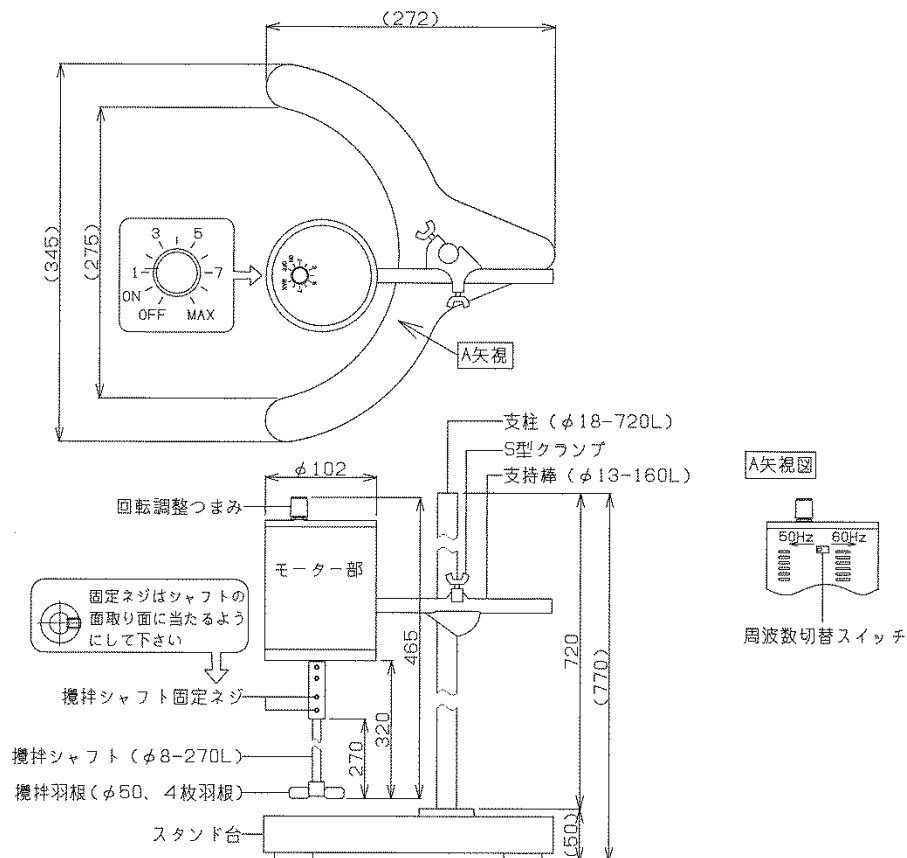
* 準備

1. 支柱をスタンド台にネジ込みます。
2. 攪拌羽根付攪拌シャフトをモーター部にシャフトを突き当て固定します。攪拌シャフト固定ネジが攪拌シャフトの一面取部に来るように、止めてください。
(付属の 6 角ネジ回しで止めます。)
3. S 型クランプで支柱にモーター部を固定します。
4. 攪拌羽根の位置は、液面より 2/3 程度の深さに設置すると、効率のよい攪拌ができます。

* 運転方法

1. 円筒部側面の周波数切替スイッチを使用する周波数にあわせませす。
2. 回転調節ツマミの指示が OFF 位置であることを確認して電源コードを三芯接地付コンセントに差込みます。
3. 電源スイッチ兼回転調節ツマミを右に回すと ON になり MAX. と加速されます。
4. この速度は溶液の粘度、容器の形状等で異なりますので、そのつど調整してください。
5. 使用後、ツマミを OFF にして、電源コードを電源から外して抜いてください。

機能説明図



保証・故障・修理

1. 通常の使用における故障については、お買い上げ後一年間無償保証します。
印刷の汚れ、剥がれ、外装の傷等、また、落下による破損、消耗品の交換等については、保証いたしかねますのでご了承ください。
2. 使用中、異常が発生した場合、直ちに運転を中止し、販売店にご連絡ください。
製造番号もあわせてご連絡ください。